

令和3年3月1日朝礼

皆さんが今の学年で生活する日も、あと少しとなりました。今までの学習のまとめをしっかりして、次の学年につなげていきたいですね。

1年生の皆さんには入学式のときに、2年生から6年生の皆さんには6月にお話しをしたかと思うのですが、「あきたけ」のことばに合わせて、「あいさつをしましょう」「話をよくききましょう」「楽しく元気に」の話をさせていただきました。「楽しく元気に」は、自分だけが楽しく元気にすればよいのではなく、みんなが「楽しく元気に」過ごすために、相手の気持ちを考えて行動することが大切だという話もさせていただきましたと思います。そういったことも含めて1年の振り返りをしてほしいと思います。

さて、今日は、私たちが忘れてはならない日の話をします。今からちょうど10年前の3月11日、東日本大震災という大きな地震がありました。激しい揺れによって、たくさんの建物が壊れました。また、その後に襲った津波の影響で、約1万人以上もの尊い命が失われました。皆さんと同じ、小学生の子たちもたくさん亡くなっています。命を落とさなかった人の中にも、大切な家族を失ってしまった人もたくさんいます。

また、自分は生き残ったけど家族を皆失ってしまった人がいます。あれから10年たちました。その人は、悲しさを忘れてしまったのでしょうか。忘れるわけはありませんよね。10年たっても、この先何年たっても、家族や友達を亡くして、悲しい思いをしている人がいるということ、私たちは知っておく必要があります。

地震によって多くの建物が壊れました。10年たち、元通りになったのでしょうか。多くの人の努力で、建物はたくさん建ちましたが、まだまだこれからというところも多いそうです。10年たった今でも、元の街に戻そうと努力をしている人がたくさんいることを、私たちは知っておく必要があります。

地震で多くの人が亡くなったことはとても悲しいことですが、私たちは、この出来事から学ぶことがたくさんあると思います。命を失うということが、まわりの人にどれだけ悲しい思いをさせるということ。そして、その悲しさは、何年たっても消えることはありません。一つとして、大切でない命はありません。自分の命、まわりの人々の命の大切さを、今一度、確認してほしいと思います。命の大切さが分かる人は、他人にひどいことをしたり言ったりすることは決してないと信じています。

そして、その大切な命を守るために、私たちにできることは何かを考えること。東日本大震災の時も、自分たちの判断で、大切な命を守った小学生、中学生の皆さんがいます。大人の指示を受けなくても、日ごろの避難訓練のことを思い出し、自分たちの判断で安全な場所へ避難し、自分たちの命を守ったそうです。

10年前の大きな地震について改めて知るとともに、命の大切さを考える貴重な機会にできればと思います。